



www.jtu.or.jp

第29回オリンピック競技大会トライアスロン競技女子速報

井出樹里が健闘して5位に入る快挙

優勝はエマ・スノーシル(オーストラリア)。庭田は9位、上田は17位

8月18日(月)、第29回オリンピック競技大会のトライアスロン競技女子が、北京市北部の昌平区にある十三陵ダム湖のダムサイト特設コースで行われた。

心配された天候は晴れ。気温は約30度、水温26度でウエットスーツ着用不可で競技は行われた。

このレースには、世界各国から55名が参加。日本女子は、上田藍(シャクリー・グリーンタワー・稲毛インター)、庭田清美(アシックス・ザバス)、井出樹里(トーンシムパートナーズ・チームケンズ)の3名が参加した。

午前10時ちょうどのスタートは、きれいに横一線できまり、十三陵ダム湖1周回1.5kmのコースを泳いだ。

スイムを19分49秒のトップでフィニッシュしたのは、ローラ・ベネット(アメリカ)。1秒遅れて、ディマルコ・メスマー(スイス)、サラ・ハスキンス(アメリカ)、井出の3名が2~4位で通過した。庭田は、19分56秒で14位、上田は20分17秒で37位だった。

6周回のバイクに入って1周目。互いに牽制しあう選手たちは、約30名の集団をつくった。ここには井出、庭田が入り、上田はこの集団の最後尾を追いかける形に。

2周目には約20名が第1集団をつくり、その後ろの約15名の第2集団ができた。その後、ここにいた上田がニコラ・スピリグ(スイス)とともに第1集団に追いついた。

5周目には、この集団から一人が脱落。19名の集団が、バイクからランヘトランジヨ



十三陵ダム湖を泳ぐスイム。きれいに飛び出したスイムスタート(左)。天候は晴れの青空となった



スイムを終えて、上がってきた選手たち。向かって左には、4位でスイムを上がった井出が見える

JTU Official Sponsors & Official Partners



ンに飛び込んだ。

ランへのスタートは、それまで力をためていたかのようにエマ・スノーシル(オーストラリア)が先頭で飛び出すとアンドレア・ヒューイット(ニュージーランド)がすぐに後を追う。やや遅れてベネット、パネッサ・フェルナンデス(ポルトガル)、エマ・モフェット(オーストラリア)、ニコラ・スピリグ(スイス)が追走する。

その後ろ、庭田は10位、上田は11位、井出は13位で4周回のランに出て行った。

2周回目には、スノーシル、フェルナンデス、ベネット、ヒューイットの順に。その後ろには、モフェット、そして井出が追い上げる。

3周回目には、スノーシルがフェルナンデスとのリードを広げると、ベネットとヒューイットが後退。代わって上位に上がってきたのは、モフェットと井出だった。井出は、ランに入ったときには13位だったが、得意のランでここまで上がってきた。そしてこの周には4位まで順位を上げ、モフェットを射程圏内にとらえ、表彰台圏内に届くかと思わせる走りを展開した。

最終周に入ると、モフェットの後ろを追う井出が盛り返してきたベネットに捕まり、残念ながら順位を一つ下げてしまった。

この結果、最後までリードを保ったスノーシルが、1時間58分27秒のタイムで優勝し金メダルを獲得した。2位には1時間59分34秒でフェルナンデスが、3位には1時間59分55秒でモフェットが入った。

井出は、終盤ベネットに逆転されながらも良く持ちこたえ、2時間23秒のタイムで5位に入る快挙となった。庭田は、ランで走り出しの順位を維持して2時間51秒の9位となった。上田は、ラン序盤での遅れを挽回できず、2時間2分19秒で17位。

なお、このレースのリザルトの詳細は、ここをクリックしてください。

レースの様子は「web JTU Magazine」フォトギャラリーでご覧になれます。

明日19日(火)10時(日本時間11時)には男子のレースがスタートし、NHK-BS1で同時放映されます。



バイクの第1集団。ここには庭田、井出、上田が入っていた



ランに飛び出す上田(左)と井出



悲願の優勝のスノーシル



井出は5位の快挙



表彰台のフェルナンデス、スノーシル、モフェット(左から)

JTU Official Sponsors & Official Partners

